

製品安全データシート

1. 製品等及び会社情報

1.1 製品の特定

化学物質等の名称：ローヤルアロー 床用洗剤
製品分類：その他ケミカル品
主な用途：床用洗剤

1.2 会社情報

会社名：株式会社ユーエスシー
住所：東京都府中市日鋼町1番1
担当部門：営業1部
電話番号：042-351-0011 FAX番号：042-351-0010
改訂日：2022年5月6日

2 危険有害性の要約

最も重要な危険有害性及び影響

GHS分類

<物理化学的危険性>

- ・引火性液体： 区分に該当しない
- ・自然発火性液体： 区分に該当しない
- ・酸化性液体： 区分に該当しない

<健康に対する有害性>

- ・急性毒性（経口）： 区分に該当しない
- ・急性毒性（経皮）： 区分に該当しない
- ・皮膚腐食性/刺激性： 区分1
- ・眼に対する重篤な損傷/眼刺激性： 区分1

<環境に対する有害性>

- ・水生環性有害性 短期（急性）： 区分に該当しない
- ・水生環性有害性 長期（慢性）： 区分に該当しない

※上記に記載のない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」ことを示す。

GHSラベル表示

- ・シンボル：



- ・注意喚起語： 危険

危険有害性情報：

- 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

注意書き

安全対策

- *使用前にラベルをよく読むこと。
- *全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- *上記用途以外には使用しないこと。
- *粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- *取り扱い後は手をよく洗うこと。
- *保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- *使用時に液が眼に入らないように注意すること。
- *作業は換気の良い所で行うこと。

*この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

*他の洗剤と混ぜないこと。

応急措置

*飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

*皮膚（または髪）に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水【又はシャワー】で洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

*吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

*眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

保管及び廃棄方法

*子供の手の届かない所に施錠して保管すること。

*容器の保存は、日光を遮断し、必ず密栓し、温度40℃以上になる所、水周りや湿度の高い場所には置かないこと。

*容器の廃棄の際は、中身を使い切ってから捨てること。

*内容物や容器を廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

含有成分及び含有量

成分名	含有量 mass%	CAS No.	化審法No	安衛法	PRTR法	毒劇物法
非イオン性界面活性剤	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
両性界面活性剤	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
水酸化ナトリウム	1 >	1310-73-2	1-410	非該当* ¹	非該当	非該当* ²
メタ珪酸ナトリウム	1 >	13517-24-3	1-508	非該当	非該当	非該当
精製水	バランス	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当

注) 化審法No. 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号

安衛法No. 労働安全衛生法（安衛法）第57条の2第1項政令指定物質の政令番号

※1 水酸化ナトリウムは通知対象物質に該当するが、1%未満であるため非該当

PRTR法No. 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）対象化学物質の政令番号

毒劇法No. 毒物及び劇物取締法の政令番号

※2 水酸化ナトリウムは劇物であるが、含有量が5%以下であるため非該当

4 応急措置

<吸入した場合>

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は医師の診察を受けること。

<皮膚に付着した場合>

直ちに汚染された衣服をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

<目に入った場合>

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

<飲み込んだ場合>

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師の診察を受けること。

5 火災時の措置

<適切な消火剤>

本製品は燃焼しないので火災に応じた消火剤

<使ってはならない消火剤>

なし

<特有の危険有害性>

情報なし

<特有の消火方法>

危険でなければ充填容器を安全な場所に移す。

<消火を行う者の保護>

保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣等の適切な保護具を着用する。

6 漏出時の措置

<人体に対する注意事項>

漏出した場所にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止し、作業の際は、適切な保護具を着用して身体との接触を避ける。密閉された場所に立ち入る前には換気する。

<環境に対する注意事項>

漏洩物が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。水で洗い流す場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境に流出しないように注意する。

<中和などの浄化の方法及び機材>

漏洩した液は、おがくず、土砂、紙などに吸収させ、空容器に回収する。漏出区域周辺は多量の水で洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

<取扱い上の注意事項>

ミストを吸入しないこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

取扱い後は、手などをよく洗うこと。

<保管上の注意事項>

高温、凍結のおそれのある場所を避けて保管すること。

液が漏出しないように使用後は必ず密封して保管すること。

施錠して保管すること

8 ばく露防止措置

ばく露防止

<管理濃度> : 未設定

<生物学的指標等の許容濃度> : 未設定

<ばく露を軽減するための設備対策> : 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄ができる設備を設置する。

保護措置

<適切な保護具> : 眼の保護には保護眼鏡、皮膚の保護にはゴム手袋や保護前掛け、呼吸器の保護には保護マスクを使用する。

9 物理及び化学的性質

<外観> :

薄赤色透明液体

<臭い> :

なし

<凝固点、沸点、初留点及び沸騰範囲> :

データなし

<引火点、自然発火温度> :

引火しない

<燃焼又は爆発範囲の上限、下限> :

燃焼又は爆発しない

<蒸気圧、蒸気密度> :

データなし

<比重(相対密度)> :

1.05 (20℃)

<溶解度(溶解性)> :

水に溶け易い

<pH> :

13~13.5 (アルカリ性)

<酸化性> :

なし

10 安定性及び反応性

<安定性> :

通常の実験条件において安定

<危険有害反応可能性> :

情報なし

<避けるべき条件> :

高温、凍結

<混触危険物質> :

情報なし

<危険有害な分解生成物> :

燃焼等で強熱分解すると一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。

11 有害性情報 (GHS 分類の根拠を記載)

<急性毒性> : 区分に該当しない(経口) 加算式に従い計算し、区分に該当しないと推定した。
区分に該当しない(経皮) 加算式に従い計算し、区分に該当しないと推定した。

- <皮膚腐食性・刺激性> : 区分1 本製品のpHが11.5以上であることから区分1とした。
<眼の重篤な損傷・刺激性> : 区分1 本製品のpHが11.5以上であることから区分1とした。
<呼吸器感作性又は皮膚感作性> : 分類できない
<生殖細胞変異原性> : 分類できない
<発ガン性> : 分類できない
<生殖毒性> : 分類できない
<特定標的臓器毒性 (単回ばく露)> : 分類できない
<特定標的臓器毒性 (反復ばく露)> : 分類できない
<誤えん有害性> : 分類できない
-

12 環境影響情報

- <生態毒性> : 区分に該当しない (水生環境有害性 短期 (急性)) 分類される成分の合計から区分に該当しないとした。
区分に該当しない (水生環境有害性 長期 (慢性))
分類される成分の合計から区分に該当しないとした。
<残留性・分解性> : データなし
<生体蓄積性> : データなし
<土壌中の移動性> : データなし
<オゾン層有害性> : 分類できない
-

13 廃棄上の注意

- <安全で環境上望ましい廃棄の方法> : 廃棄物は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して処理する。
<容器・包装の適正な処理方法> : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。
容器などを洗浄した排水はそのまま流さず、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、専門の業者に委託する。
-

14 輸送上の注意

- 国際規制
<国連番号> : 1760
<品名> : その他の腐食性物質 (液体) (他の危険性を有しないもの)
<危険物クラス> : 8
<容器等級> : III
国内規制
<陸上輸送> : 取扱い及び保管上の注意に従う
<海上輸送> : 船舶安全法の規定に従う
<航空輸送> : 航空法の規定に従う
-

15 適用法令

- <消防法> : 非該当
<化学物質排出把握管理促進法> : 非該当
<毒物及び劇物取締法> : 非該当
<労働安全衛生法> : 非該当
-

16 その他の情報

- <引用文献> : 化学品の分類および表示に関する 世界調和システム (GHS) 改訂 6.2 版 国際連合
16615の化学商品 化学工業日報社 2015年版
原料の製品安全データシート 各原料メーカー
GHS分類対象物質一覧 (独) 製品評価技術基盤機構
GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報 厚生労働省
国際化学物質安全性カード (ICSC) 日本語版
-

※注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報モデルの一つとして、取り扱う事業者提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。
